

もず (1961)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 95分

初公開日 1961/03/01

公開情報 松竹

【解説】

脚本家の水木洋子が、自身のテレビドラマ用台本を脚色。20年ぶりに再会した母と娘の愛憎と嫉妬を描く。渋谷実が監督、武満徹が音楽を担当した。

松山での結婚生活に失敗したさち子は、美容師を目指すため上京。新橋の小料理屋で女中として働く母すが子を訪ねた。二十年ぶりの再会だったが、すっかり水商売に染まった母に対し、さち子は嫌悪感を覚える。またすが子は、自分に対してよそよそしい態度のさち子に反感を覚える。さち子の美容院への就職が決まった日、すが子が倒れた。すが子はさち子と一緒に暮らすことになり、二人の仲は良くなりつつあった。さち子は、松山から上京した酒田という青年と知り合い、彼からプロポーズされる。パトロンと手を切ったすが子は、酒田の出現に嫉妬を覚えるのだった。

【クレジット】

監督 渋谷実

製作 若槻繁

渋谷実

企画 佐々木孟

原作 水木洋子

脚本 水木洋子

撮影 長岡博之

美術 松山崇

音楽 武満徹

Toru Takemitsu

出演 有馬稲子

岡田さち子

淡島千景

岡田すが子

川津祐介

酒田

永井智雄

藤村

山田五十鈴

一福のおかみ

日高澄子

乙羽信子